

麻疹 (はしか)

千葉県立海浜病院小児科 栗原 恵理佳 医師

こども急病電話相談

受診するべきかどうか迷ったら

#8000

毎日夜7:00~翌朝6:00

※相談は無料ですが、通話料はご負担いただきます。

ダイヤル回線・IP電話・光電話・銚子市からは
☎043 (242) 9939

Q1 麻疹とはどんな病気？

麻疹は、麻疹ウイルスによる全身感染症です。麻疹ウイルスは飛沫感染、接触感染に加え、空気感染も引き起こすため、感染力が非常に強いです。

Q2 症状は？

典型的な症状はカタル期、発しん期、回復期と経過により分かります。

カタル期

8～12日間の潜伏期間を経て、発熱、咳嗽(せき)、鼻汁、眼脂(めやに)を伴う結膜充血などの症状で発症します。

発しん期

症状が出てから2～4日目に口の中の粘膜にコプリック斑という白斑を認めることがあります。

回復期

この頃に一度解熱傾向となりますが、すぐに再び高熱となり、顔面に発しんが出現し、3日程かけて全身に広がります(発しん期)。発しん出現後2～3日で発熱はピークとなり、解熱します。解熱後、発しんも退色していきます。

一方、麻疹ワクチンを受けたことがある人が麻疹に罹患した場合には、典型的な症状を示さないことがあり、修飾麻疹と言われる場合があります。しかしながら、修飾麻疹の人も他人に感染させるリスクがあります。

Q3 ワクチン接種は打ったほうがいいのか？ (なぜ2回接種するの?)

麻疹に対して有効な治療薬はなく、麻疹ウイルスの感染力も強いです。そのため、ワクチン接種による感染予防が重要です。ワクチン1回接種では十分な免疫がつかないこともあること、1回の接種でついた免疫が時間とともに弱まることから、2回ワクチンを接種し確実な免疫をつけることが大切です。

Q4 ワクチン接種前に罹患した場合は、 ワクチン接種はしなくていい？

麻疹に罹患したことが確実な場合(検査で麻疹の感染が証明されている)は、免疫がついたと考えられるのでワクチン接種をしなくても構いません。

Q5 罹患したことがあるかどうかわからない大人は、どうすればいいのか？

医療機関で麻疹の抗体価を測定できます。抗体がないあるいは低い場合は、麻疹に罹患したことがない、あるいは麻疹ワクチンを接種していても十分な免疫が得られなかったと考えられるので、医師と相談し、ワクチン接種を検討しましょう。

